

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・4	感染症対策としてはこれまで徹底して行ってきた結果、入居者様のコロナ感染0に抑えてくれたが、以前のような地域との関わりがなかなか持つことが出来なかった。	感染0に抑えながらも、以前のように地域と関わりを持ち意見交換しながら再開していく。	8月に開催した運営推進会議では、地域の代表者・市議会議員・利用者家族と災害時等の話しがたくさんできたため、まずは定期的開催し意見交換を多くしていく。	2ヶ月
2	6	現在、ケアにおいて身体拘束となる内容は0であるが、今後も0に向けての全体での研修を具体的に記録として残しながら体制を築いていくことが課題。	これまで行ってきたスタッフ間での研修をより明確に記録として残しながら、引き続き0に向けて取り組んでいく。	再度体制を整えた上で、定期的な研修をより具体的な内容として4月以降残していく。	2ヶ月
3	35	地震や火災を想定した避難訓練を実施したものの、度重なる災害に向けて頻度を増やしていく。	訓練の頻度を増やししながら、災害時に迅速な対応が行えるように日々心掛けて備えていく。	まずは訓練の頻度を増やし、ホーム全体で迅速な対応が取れるように近く4～5月中に再度訓練を開催する。	1ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。